

代表的な事業に係る前年度の課題及び改善内容

五つの力 事業の名称	前年度の課題	改善内容
体感する力 令和 2 年度もりの 学舎ようちえん	<ul style="list-style-type: none"> 参加できる人数に制限がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 未就学児童に対する自然体感事業を組み合わせることで、自然とのふれあいの機会を増加。
理解する力 令和 3 年度プラザ 環境学習講座	<ul style="list-style-type: none"> 講座で学んだことを行動に移せているのか、継続的に行動できているのか把握することが困難。 	<ul style="list-style-type: none"> 依頼者及び見学者に対して、見学終了後 1 ヶ月を目処に実施するアンケートにより、講座で学んだことが行動に移せていることを把握。
探究する力 令和 3 年度高校生 環境学習推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 活動を継続・発展させる工夫を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 調査研究発表会に過去参加校も出席し、研究発表や交流の機会を設定。
活用する力 令和 3 年度かがや け☆あいちサステ イナ研究所	<ul style="list-style-type: none"> 研究活動が終了した後も、大学生とパートナー企業が継続的にかかわり、環境面における活動ができるような仕組みの構築が望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究所活動終了後も大学のゼミ・研究室とパートナー企業が継続して研究活動ができるとともに、コロナ禍における感染リスクを低減するため、従来の個人参加に加え、団体参加（大学のゼミ・研究室）を試験的に導入。 研究所活動が終了した後もファシリテーターが継続的にパートナー企業との接点を作っているチームあり。
共働する力 令和 3 年度環境学 習コーディネート 事業	<ul style="list-style-type: none"> 本事業を知らない方が多いので、周知を工夫する。 コーディネートの活用後も、依頼者がコーディネーターを頼ることなく、講師との関係性が保てるようサポートしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> あいち環境学習プラザの来所者（社会見学申込者等）へ、コーディネート事業の説明を実施。 コーディネート終了後も依頼者と講師が関係性を保てるよう、コーディネーターが同席して打合せを行うことで早期に信頼関係が構築できるよう配慮。